

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
春日部市立ふじ学園		令和7年 4月 8日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	90%	10%	法令に遵守したスペースを確保しています。	参観日など親子で使用する時等は、課題を感じている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	基準以上になるように、職員を配置。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	95%	5%	わかりやすい環境設定に努めている。 特性に合わせて写真・絵カード等を利用している。	今後、子どもたちがより意思表示ができるようカードなど工夫をしていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	96%	4%	毎日清掃・消毒を行っている。 安全かつ、集中できる環境を整えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	状況に応じてパーテーションを使用し空間を分けたり、静養室を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	会議・ミーティング等を実施することで全体で業務改善を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	96%	4%	年に2回保護者アンケートを実施し、毎年改善していく内容を事業計画に組み込み実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	95%	5%	毎日のミーティングで意見を出し合い業務改善につなげている。	声を上げやすい人の意見がどうしても大きくなってしまうため、すべてのスタッフが話しやすい、また意見を組み入れやすくする事を課題と感じている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	98%	2%	令和6年度実施し、課題があげられているため、次年度事業計画にて改善していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	90%	10%	法人内で研修を計画的に実施している。	法人内で計画しているが、実際の参加者数に課題を感じている。多くのスタッフが参加できるための仕組みを検討していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	令和6年度よりホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントとニーズを丁寧に聞き取り個別支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	モニタリング、支援計画会議を必ず行い全職員の情報共有・共通理解を図っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	90%	10%	専用ソフトを用いて全職員が閲覧できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	90%	10%		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	ガイドラインに従い支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	98%	2%	ミーティングで職員全体に共有・確認を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	90%	10%	子ども達の状況に応じて、活動プログラムの見直しや変更実施している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	コーナー遊びや簡単なゲーム遊び等を通して集団活動に慣れるよう支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	支援前にミーティングを実施し、一日の流や役割分担について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	90%	10%	就業前にミーティングを実施し、児の様子等を共有し、今後の支援につながる対応を検討している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	アプリを用いて日々の記録を記入、共有し記録に基づいて支援の検討や改善を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的にモニタリングを実施し、必要に応じて見直しや変更を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	80%	20%	実際に支援し、お子さんの状況を理解している保育士・指導員が対応している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	協力医療機関を定め重要事項説明書に記載している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	必要に応じて、関係機関連携を実施いたします。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	必要に応じて、関係機関連携を実施いたします。埼玉県のサポート手帳を用いています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	70%	30%		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	80%	20%		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	春日部市の自立支援協議会こども教育部会に参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	施設内にある八木崎保育所との交流、園庭を共有して遊んでいる。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	アプリを用い連絡を密に取っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80%	20%	講師を招いて保護者向け研修会を実施。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	お子様や保護者からの意向があった場合は対応している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	面談時に実施している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	随時行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	90%	10%	在園児・卒園児の保護者に年に4回交流の場を提供している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	90%	10%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	アプリを用いて毎月園だより、お知らせを配信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	90%	10%	個人情報に関する書類等は鍵付きのキャビネットにて保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	お子様や保護者に関して配慮が必要な場合は伝え方や関わり方を丁寧におこなっている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	夏祭りやキッズフェスティバル等を開催。地域の方や高等学校のボランティア部を招待している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	国の定めたBCPを作成している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	入園前に看護師によるインテークを行い病歴・アレルギーを把握している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	90%	10%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	終了時のミーティングにて、連絡・検討・共有をしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待委員会を設置し、全職員に研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	個別支援計画に記載し保護者に説明を行っている。	